

2008

広報

おばま 5

【特集】 市民の大切な足 あいあいバスを守ろう



《表紙》

桜に見送られながら
のんびり走るあいあい
バス。小屋線岩井谷バ
ス停付近。

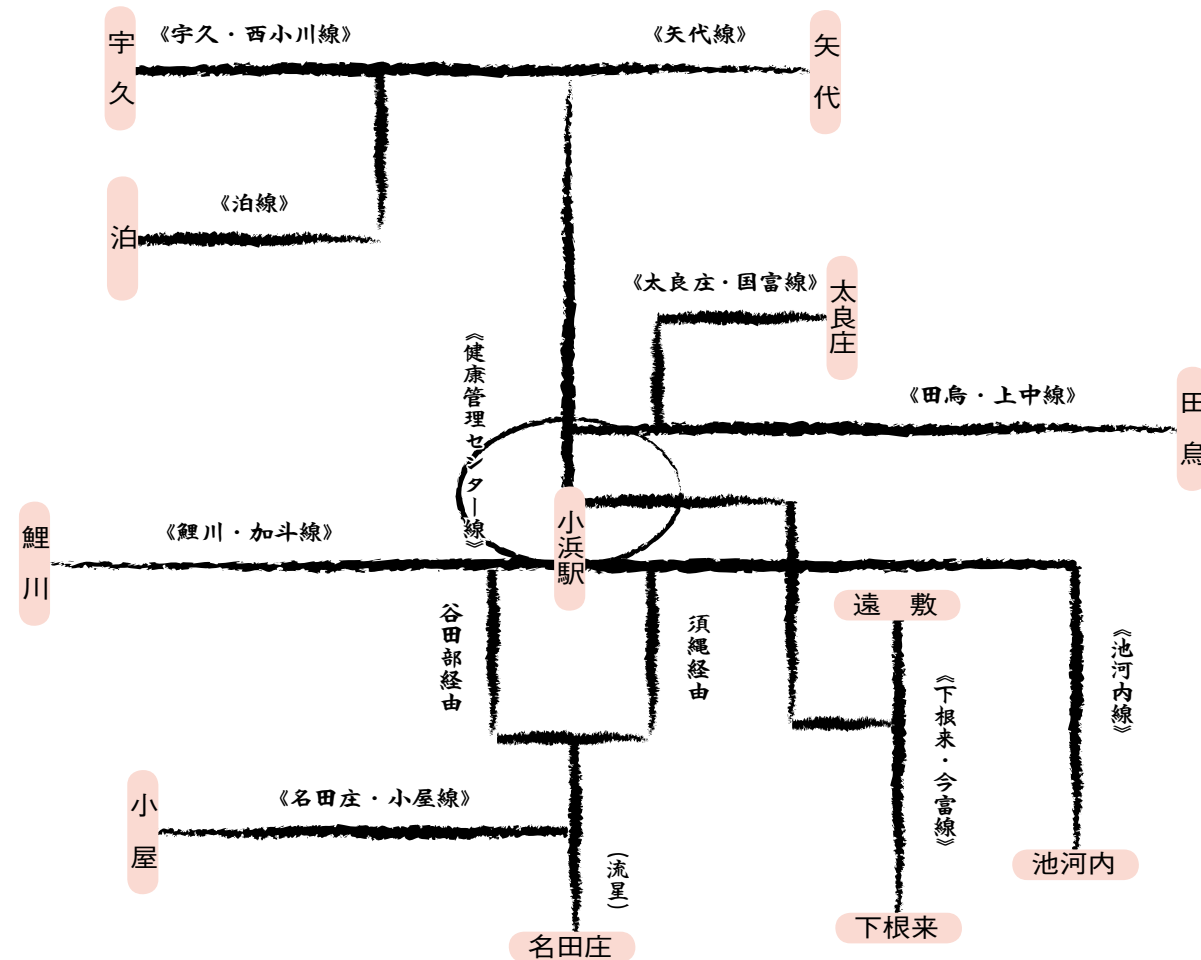
(4月15日)

市民の大切な足 あいあいバスを守ろう



「笑顔」と「あい」を運ぶ あいあいバスの車内

【路線図】



通勤通学路線運賃

路線（方面）	100円ゾーン	200円ゾーン	300円ゾーン
西津、内外海	～西津公民館前	北塩屋～泊、矢代	—
口名田、中名田	～若狭尾崎	須縄～桂	田茂谷～
谷田部、中名田	～青井	谷田部～桂	田茂谷～
遠敷、松永	～木崎橋	めのう会館前～池河内	—

コミュニティバス路線運賃

路線	範囲	運賃
田烏・上中線	田烏～上中病院	100円
	田烏～宮川、宮川～小浜	200円
	田烏～小浜	300円
太良庄・国富線	全区間	200円
健康管理センター線	全区間	100円
下根来・今富線	今富～小浜	100円
	遠敷～小浜	200円
鯉川・加斗線	全区間	200円
宇久・西小川線	宇久、西小川、加尾～北塩屋	100円
	宇久、西小川、加尾～ （西津公民館～小浜駅）	200円

運行状況

なぜ利用者が減ってきたのでしょうか。このまま利用者が減り続けるとどうなってしまうのでしょうか。市民の足「あいあいバス」についてみんなで考えてみましょう。

運行を開始して六年が経過しましたが、平成十五年度をピークに、利用者は毎年減少しています。

その結果、大和交通（株）と三福タクシー（株）で構成する「あいあいバス運行協会」が、JRバス路線を引き継ぎ運行することになりました。

そのため市では、JRによる廃止が表明された平成十二年十一月、小浜市公共交通対策協議会を設立。JRバス廃止後の運行をどうするか、近隣町村と連携しながら検討しました。

ところが、乗客の減少に伴い路線の廃止が相次ぎ、平成十四年三月でJRバスの若江線（小浜・今津間路線）を除く全線が廃止されました。

十二月、国鉄バスが小浜・今津間で運行を開始。その後、徐々に路線が増え、多くのバスが運転されていきました。

平成十四年四月一日から運行を開始した「あいあいバス」。通院や買い物、また通勤、通学など、市民の足として重要な役割を果たしています。

上記路線図のとおり、現在は通勤通学路線五路線とコミュニティ路線六路線の計十一路線を運行しています。

五月一日から、ダイヤを一部改正します。「下根来・今富線」が金屋経由になるため、「中の宮バス停」を団地前に移設し、「金屋バス停」を金屋公会堂に新設します。

詳しくは、全戸配布される時刻表をご覧ください。

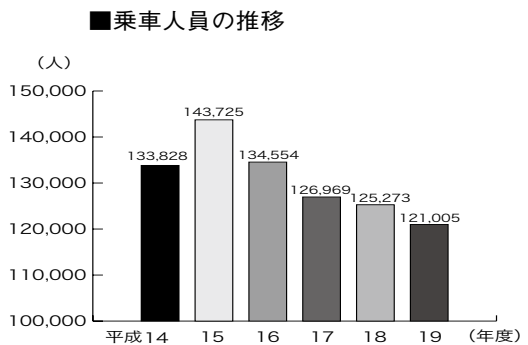
5月1日ダイヤ改正

利用者減に伴い 運賃収入も減少

左のグラフは、平成十四年度から同十九年度の乗車人員を表したものです。

ピーク時には十四万三千人を超えていた乗車人員が、昨年度は十二万一千人と、二万三千人近く減少しています。

これは近年、自家用車が各家庭に二台、三台と普及したことによる通勤客の減少、また、少子化による通学客の減少などが原因と考



えられます。

あいあいバスの運賃は百円から高くても三百円。現金または回数券、定期券で乗車できます。

平成十九年度の運行経費は、左表のとおり約一億三百万円。そのうち千五百万円を運賃収入で、残りの八千七百万円を県・市支出金で賄っています。

利用者が年々減少しているため運賃収入も減少しています。しかし運行経費は横ばいのため、県・市支出金は増加しています。

平成 19 年度の状況

	金 額	支出割合
運行経費	103,097,000 円	—
運賃収入	15,426,000 円	15.0%
県・市支出金	87,671,000 円	85.0%

「あいあいバス」に乗ってみました

四月十五日、二中前14時35分発小屋行きに乗車してみました。恥ずかしながらわたしは、あいあいバスに乗車するのは初めてです。

始発の二中前、バスは四人を乗せ定刻に出発。小浜病院前と小浜駅からも乗車があり、十三人で終点の小屋を目指しま

す。一人の高校生を除いて年配の方が多いようです。乗客に話を伺うと、病院帰りの人が何人かいて、「せっかく小浜に出てきたので、もつとお店を回るコースも作ってほしい」との要望が。

谷田部までは乗降客はゼロ。谷田部で一人、その次で一人と下車していき、谷

便利でお得な回数券、

定期券をご利用ください

回数券は十回分の料金で、十一回乗車できます。

販売場所、問い合わせ

大和交通(株) ☎56・3333

三福タクシー(株) ☎52・1414

※回数券はあいあいバス車内でも購入できます

口ではわたしを含めて六人になりました。このまま乗客は増えないだろうと思っていると、中名田診療所前〜下田までで五人が乗車してきました。ちよつと意外でした。その後は下車だけで、口小屋ではわたし一人になってしまいました。程なくバスは終点小屋に到着、40分間の小さな旅が終わりました。

◆初乗車の感想：あいあいバスは、市民の足として根づいている。小浜へ行く(帰る)人だけが利用するのではなく、地区内の移動手段として使われるなど、なくてはならない生活必需品であると感じました。市民の大切な足「あいあいバス」を守るため、ぜひ多くの人に利用していただきたいです。

※ご要望は担当課に伝えました(出口)

今後の取り組み

地域の実情に応じたバスの運行形態、運賃などについて協議するため、市では昨年七月に「小浜市地域公共交通会議(市民の代表者、関係団体、有識者などで構成)」を設置しました。その中で、次の点について話し合いが行われています。

●いかに利用者を増やして運賃収入を確保するか

●運行ダイヤの見直し(ニーズに合ったダイヤ編成を考える)

●運行を取りやめる(利用者の極端に少ない路線や便の運行を取りやめる)

●地域の皆さんへのお願い(バスを存続させるためにどういった取り組みができるのか、地域ぐるみで検討していただく)

*

例えば、自家用車で子どもを学校まで送り迎えされている場合、交通渋滞や環境面の配慮から、あいあいバスでの通学を考えてみてくだい。

また、今まであいあいバスを利用することがない人も、ぜひ一度乗車していただき、ご意見を聞かせてくだい。

問い合わせ

鉄道新線・公共交通課
☎内線 279

安全なバスを利用してほしい

あいあいバスの運転手になって3年。主に小屋線や池河内線で乗務しています。顔見知りもたくさんできましたよ。

でも、少子化の影響もあり、学生さんを含めて年々乗客数が減っているように感じます。高校生は大半が自転車で通学していると思いますが、歩道のない国道162号などは危険なので、安全なあいあいバスを利用してほしいですね。

路線にもよりますが、時間帯によって「通学の便」「通院や買い物の便」と、乗客の層が決まっています。ただ、学校がテストなどで早く終わる日があると学生さんだけで満員になり、病院や駅で乗れない人が出てきます。そのときは増便などで対応するので、学校から事前に連絡をいただきたいですね。

また、込み合うときには詰めていただく、お年寄りに席を譲るなど、乗車マナーを守っていただくようお願いします。

もり けんじろう
森 健次郎 さん(48歳・大和交通(株))



おおぎし
大岸 ゆき さん(81歳・和多田)

わたしたち市民の大切な足

1カ月に2〜3回、小浜駅や小浜病院前まで利用しています。天候の悪いときなどは、和多田から中名田診療所前の1停留所だけでも乗っています。たいへんありがたいですよ。

中名田診療所前のバス停ですが、当初はなかったんです。要望が多かったのか新設していただきました。近くの停留所との間隔は狭いですが、たいへん便利になりました。要望に応えてもらえると本当に助かります。中名田の人もよく利用していますよ。

何年前か前、JRバスが廃止されると聞いたときは本当に心配しました。小浜へ行くのに、毎回誰かにお願いして乗せてもらわなければならないのかと…。どうしても気を遣いますしね。それがあいあいバスなら気がねなく乗ることができますし、しかも往復600円と、以前の片道の運賃以下で利用できます。本当にありがたいと思っています。

人事異動

市では、四月一日付けで人事異動を行いました。

平成二十年度を、「改定第四次総合計画および行政改革集中改革プラン」の着実な推進を図る年度」と位置づけ、定員適正化計画に基づく人員削減を図るため、退職者数に対応した組織の見直しを行い、人員配置の適正化を図りました。

今回の異動については、行政の専門化、高度化への対応と幹部職員の退職による影響と業務の継続性を重視し市民との信頼関係をよりいっそう確保するため、最小限の異動にとどめ、適材適所の人員配置と職員の能力開発および組織の活性化を目指しました。

主な内容は、次のとおりです。

- ①道路河川課と都市計画課を統合して「都市整備課」を新設
- ②医療保健課に「食の安全情報グループ」を設置して、健康被害に総合的に対応
- ③税務課の「市民税」「固定資産税」の二グループを「課税グループ」に統合
- ④社会福祉課少子化対策推進室と健康長寿課の人員を増やして福祉の強化
- ⑤ちりとてちん室の廃止

- ⑥厚生労働省との人事交流を新たに実施
- ⑦「リサイクルプラザ」供用開始に伴う人員の配置
- ⑧昨年度当初比十一人の職員を削減

異動は、部長級一人、部次長級八人、課長級三人を含む九十人です。（）内は旧任・旧所属。G Lはグループリーダー。

■部長

●総務部長 中西武司（総務部マネジャー）

■部次長

●総合政策部▼マネジャー兼企画調整課長事務取扱 塩野喜一郎（総合防災課防災監）▼政策審議監兼財政課長事務取扱 山本博（財政課長） ●総務部▼マネジャー兼総務課長事務取扱 池上秀樹（観光交流課長）▼政策審議監兼税務課長事務取扱 栗原茂（社会福祉課長）▼政策審議監兼契約検査課長事務取扱 柴田長成（上下水道課長） ●産業建設部▼マネジャー兼都市整備課長事務取扱 欠戸裕行▼政策審議監兼上下水道課長事務取扱 清水省悟（政策審議監兼都市計画課長事務取扱）

●教育委員会事務局▼マネジャー兼教育総務課長事務取扱 山内良弘（教育審議監）▼政策審議監兼文化生涯学習課長事務取扱 重田治樹（文化生涯学習課長）

■課長

●総合政策部▼総合防災課防災監 岡田昌樹（環境衛生課G L・主幹） ●市民まちづくり部▼観光交流課長 竹田茂芳（観光交流課G L・主幹） ●福祉環境部▼社会福祉課長 江見敏（観光交流課国際交流室長・主幹）

■主幹

●総合政策部▼総合防災課G L 上塚康成（福井県警察本部） ●総務部▼総務課付 西本豊茂（市民生活課G L・主幹）▼税務課G L 岩田拓美（道路河川課舞鶴若狭自動車道対策室長・主幹） ●福祉環境部▼健康長寿課G L 仲野郁夫（企画調整課G L・主幹） ●産業建設部▼都市整備課G L 松崎行生（上下水道課G L・主幹）▼上下水道課G L 松田克彦（環境衛生課G L・上席課長補佐） ●教育委員会事務局▼教育総務課G L 大下雅章（教育総務課G L・上席課長補佐）

■上席課長補佐

●総合政策部▼企画調整課G L 大野木徹（健康長寿課G L） ●市民まち

づくり部▼観光交流課国際交流室長 安田一雄（市長室G L） ●教育委員会事務局▼体育課G L 下島潤一（税務課G L）▼若狭総合公園温水プール次長 古谷芳夫（衛生管理所次長）

■課長補佐

●総合政策部▼財政課G L 東野克拓（財政課） ●総務部▼市長室G L 大岸美由紀（上下水道課G L） ●市民まちづくり部▼市民生活課G L 野村俊夫（健康長寿課G L）▼観光交流課G L 津田修二（若狭総合公園温水プール次長） ●福祉環境部▼社会福祉課少子化対策推進室G L 安倍満代（小浜第一保育園長）▼同室 吉岡恒子（国富保育園長）▼小浜第一保育園長 関野和子（田島保育園長）▼小浜第二保育園長 橋本明美（今富第二保育園）▼国富保育園長 大岸和恵（国富保育園）▼田島保育園長 中西富美乃（遠敷保育園）▼口名田保育園長 地村裕子（小浜第二保育園長）▼健康長寿課G L 宮川鶴綱（嶺南広域行政組合派遣）▼環境衛生課G L 岡正人（浄化センター次長）▼同課G L 内田和信（環境衛生課）▼クリーンセンター次長 岸本洋一（体育課G L）▼衛生管理所次長 重田富士雄（クリーンセンター次長）▼リサイクルプラザ次長 川端正寿（都市計画課G L）

●産業建設部▼都市整備課G L 竹本雅之（財政課G L）▼同課舞鶴若狭自動車道対策室長補佐 西田雅志（都市計画課G L）▼上下水道課G L 岩滝満彦（道路河川課G L）

■企画主査

●総務部▼総務課 赤崎智子（教育総務課） ●市民まちづくり部▼商工振興課 佐々木宏明（企画調整課） ●福祉環境部▼小浜第一保育園 水本和子（西津保育園）▼遠敷保育園 畑多佳子（松永保育園）▼健康長寿課 松葉美紀子（市民生活課）▼同課 松宮眞由美（総務課） ●産業建設部▼上下水道課 松見一彦（財政課）▼浄化センター 和久田恒義（社会福祉課） ●教育委員会事務局▼教育総務課 藤本倫子（総務課）▼文化生涯学習課 澤谷欣弘（商工振興課）▼体育課 地村保志（観光交流課）

■主査・主事

●総合政策部▼企画調整課 奥城直喜（食のまちづくり課）▼同課 速水誠智（鉄道新線・公共交通課）▼財政課 高島耕一（体育課）▼同課 石田一郎（福井県派遣） ●総務部▼総務課 付田中勝雄（健康長寿課）▼総務課 久下桂子（市民生活課）▼税務課 小畑成人（福井県派遣） ●市民まちづくり部▼食のまちづくり課 出口尚

子（市民生活課）▼同課 栗原直希（観光交流課ちりとてちん室）▼市民生活課 長田三奈（教育総務課）▼観光交流課 松原拓也（文化生涯学習課文化芸振興室） ●福祉環境部▼社会福祉課 中村加奈子（厚生労働省）▼同課 石橋克浩（農林水産課）▼小浜第一保育園 内藤ひとみ（口名田保育園）▼雲浜保育園 吉田めぐみ（国富保育園）▼西津保育園 中本玲子（雲浜保育園）▼国富保育園 西川圭子（小浜第一保育園）▼松永保育園 野村恵今富第一保育園）▼遠敷保育園 杉山美智子（小浜幼稚園）▼今富第二保育園 清水美和（遠敷保育園）▼環境衛生課 針田稔久（文化生涯学習課）▼同課 池田雅史（上下水道課） ●産業建設部▼農林水産課 上村基（上下水道課）▼同課 中西利光（上下水道課）▼都市整備課 秦裕二（福井県派遣）▼同課 菅野正徳（税務課）▼上下水道課 山本広和（農林水産課）▼同課 的場貴志（道路河川課）▼同課 赤尾公成（商工振興課企業誘致・雇用推進室） ●教育委員会事務局▼教育総務課 前田茂宏（農林水産課農業生産担い手支援室）▼小浜幼稚園 堂下友紀（加斗保育園）▼文化生涯学習課 大橋朋子（健康長寿課）▼同課文化文芸振興室 石田崇（企画調整課）

■技能労務職

●福祉環境部▼今富第二保育園 中澤香代美（中名田保育園） ●教育委員会事務局▼小浜小用務調理員 柴田昌代（今富小用務調理員）▼雲浜小用務調理員 池田美知栄（加斗小用務調理員）▼西津小用務調理員 吉田和子（雲浜小用務調理員）▼加斗小用務調理員 田中初美（小浜小用務調理員） ●嶺南広域行政組合《課長補佐》 石田悟司（環境衛生課）▼福井県 松岡靖洋（上下水道課）▼福井県 片岡稔博（道路河川課）▼厚生労働省 山本祐也（社会福祉課少子化対策推進室）

■派遣

●嶺南広域行政組合《課長補佐》 石田悟司（環境衛生課）▼福井県 松岡靖洋（上下水道課）▼福井県 片岡稔博（道路河川課）▼厚生労働省 山本祐也（社会福祉課少子化対策推進室）

■新採用

▼市民生活課 廣本留美▼観光交流課 濱田麻希▼健康長寿課 二村陽子▼リサイクルプラザ《技能労務職》 藪本直忠

■退職

▼長谷川文治（総務部長）▼四方澄雄（総務部政策審議監）▼岸本守（教育委員会マネジャー）▼古田幸男（税務課長）▼中川博美（社会福祉課G L）▼古谷久野（口名田保育園長）▼山田義雄（文化生涯学習課）▼山森陽子（小浜第一保育園）▼木村茂貞（財政課）▼北尾久子（国富小）▼和久田和代（西津小）▼中瀬美智子（雲浜小）

辞令交付式での市長訓示

これから地方分権時代に入っていく。職員数が減少すると専門的な行政能力と同時に事務の効率化が求められる。より深く勉強して経験を重ねていき、専門的な行政経験で住民の皆さんと信頼関係を築き上げていくことが大切だ。

いろいろな領域を経験することは、決して基本ではない。一つの領域に深くかわれば広い分野の勉強をせざるを得ない。自分に与えられた任務を徹底してやれば、広い視野、広い識見が身についてくる。そういう主旨から、小浜市は全国で初めて政策専門員制度を実施した。

おそらく、十数年後には道州制が導入されるだろう。そのとき問われるのが基礎自治体のあり方。その中心になるのが市で、大事なことは市職員の資質。職員採用試験の方法や人事異動のあり方なども検討していく。なくてはならない時期に来ている。本当の地方分権の土台というのはそこから。しっかりと担っていく職員姿勢、資質を培うことから始めなければ、形だけ出来ても中身が伴わない。それぞれの立場での責任と自分自身がどういう勉強をして自己研さんしていくか、そのことをしっかりと認識し、新たな気持ちで出発してほしい。